

38. 生活化

生活科は、子供の生活圏である身近な社会、自然を学習の場としています。また、生活科は、よき生活者として求められる資質や能力、態度の育成を目指す教科でもあります。

したがって、生活科の学習は、子供の日常生活との関連が大きいことを意味しています。生活科で得たこと、学んだことが日常の生活に生かされることが大切です。

生活化とは

生活化とは、生活科の学習で得たこと、学んだことを子供が自分から進んで自分の生活に生かそうとする実践的な態度を示す。

生活化となるために、

- ・子供が自分の考えをもって主体的な活動ができる場や時間が保障されていること
- ・日常生活の実践化につながるように対象と繰り返しかかわるなどの継続性のある活動であること
- ・家庭や地域との連携を図り、長期的な展望に立って継続的な活動であること

などが、大切な要素となる。

— 実践から —

1学期の終わり頃の1年生の生活科の学習で、いくつかの方面の公園での活動を計画します。それらの公園での活動を通して、子供は、普段遊んでいる公園の知らなかった「よさ」に気付いたり、自分の住んでいる近くには、自分の知らない公園や楽しい魅力的な公園があることに気付いたりします。生活科の学習を終えて、放課後に友だちといっしょにまたその公園へ遊びに行ったり、その公園での遊びを通して、新たな友だちとのかかわりが生まれたりすることができます。

生活科の学習を通して行動範囲が広がり、生活科の学習で知った公園のよさに引かれた遊びが日常化していくことで、その子にとって生活科の学習が生活化したと言えます。